

# 令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和6年度策定)   | 1年間の目標   | 取組の内容  |   |
|---|--------------|---|--|--|---|
|   |              |   |  | 具体的な方策   | 評価の観点   |
| 1 | 学習指導<br>教育課程 | <p>① 共生社会の実現に貢献できる人材の育成に向けて、インクルーシブな学習環境を構築し、協働的な学びを通じた相互理解の深化につながる教育課程の編成や学校行事の精選・充実に取り組む。</p> <p>② 1人1台端末を効果的に活用した個別最適な学びの充実により、総合的な探究の時間の充実に、主体的に学ぶ意欲を高め、学ぶ喜びのある授業を実践する。</p> | <p>① インクルーシブな環境における協働的な学びを通じて、生徒一人ひとりの適性や関心を伸ばし、幅広い進路選択から進路実現を目指す。</p> <p>② 1人1台端末を効果的に活用した個別最適な学びの充実のために、教員や生徒が実践しやすい環境をつくる。</p>  | <p>① 基礎的な学習の徹底と発展的な学習の展開ができるような教育課程を編成する。</p> <p>② ICT機器を活用しやすい環境整備や取扱い方法のマニュアル化を昨年度行ったのでその状態を持続させるよう維持管理する。</p>   | <p>① 3年間を通じ、生徒が主体的に学ぶことができる教育課程を編成できたか。</p> <p>② 支障なく生徒・職員がICT機器を使用できるか。</p>  |
| 2 | 生徒指導・支援      | <p>① 生徒一人ひとりの状況に応じた組織的な指導・支援体制の充実に、安心・安全でインクルーシブな学校づくりを推進する。</p> <p>② 学校行事や部活動等の活性化を通して、インクルーシブな人間関係の構築に向けた生徒の主体的な取組みを促す。</p>   | <p>① 生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導・支援体制の充実と、すべての生徒が安心して学べる環境の整備を更に推進する。</p> <p>② 学校行事の運営や委員会、部活動等において生徒が主体性・自主性を発揮し、その達成感や充実感を自ら得ていく力を養い、心身ともに成長できるよう、生徒活動の活性化や部活動加入生徒の満足度の向上を図る。</p> | <p>① 「かながわ子どもサポートドック」の取組を推進し、生徒の状況や課題を適切に情報共有し、ニーズに応じた支援を行う。</p> <p>① 講話等を通して、人権や生命尊重の意識を醸成する。特に交通安全教育において、生徒向けの講座を効果的に計画するとともに、自転車ヘルメットの着用率向上に努める。</p> <p>② 生徒会や委員会、部活動等の安心安全な活動を確保し、学習との両立が図れるよう支援していく。</p> <p>② 生徒の意見や発想を尊重し、持続可能な学校行事となるよう、文化祭では会場設営、体育祭ではプログラムの検討、改善を進める。</p> | <p>① 学年会議やケース会議、SC・SSWとの情報共有や学習環境の整備を通じて、生徒一人ひとりの状況に応じた支援を実施できたか。</p> <p>① 各種講座のアンケート結果等で、生徒の意識の向上が見られたか。ヘルメットの着用率向上が見られるか。</p> <p>② 学校行事や部活動等を通して生徒の主体性、自主性を引き出すことができたか。また、生徒は充実感や達成感を得られたか。</p> <p>② 部活動の活性化は図れたか。また生徒会活動、部活動等が安心安全に行えたか。</p> |

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和6年度策定)   | 1年間の目標  | 取組の内容  |  |
|---|--------------|---|---|--|--|
|   |              |   |   | 具体的な方策   | 評価の観点  |
| 3 | 進路指導・支援      | <p>①生徒自身が考え、進路希望の実現に向けた行動をするなど、生徒の主体性を育むキャリア教育を組織的・計画的に実践する。</p> <p>②インクルーシブ教育実践推進校として、生徒一人ひとりの社会接続を実現するために、ていねいな進路支援を行う。</p> | <p>①総合的な探究の時間を軸にした体系的かつ組織的なキャリア教育を実践し、希望する進路の実現を支援する。</p> <p>②特別募集生徒だけでなくすべての生徒に対して多様な進路希望に対応した進路支援が行えるよう、校内体制の見直しを行う。</p>  | <p>①総合的な探究の時間を通して興味関心の幅を広げ、進路意識を高め、生徒自身が進路について深く考えられるようにする。そしてその実現に向けて、希望に応じた進路ガイダンス等の拡充を図る。</p> <p>②「進路実践」の授業で蓄積してきた生徒一人ひとりの社会接続を実現させる支援方法について校内で共有し、組織的な進路支援を実践する。</p>                                   | <p>①総合的な探究の時間の発表において、主体性、探究心、課題解決能力の高まりが見られたか。</p> <p>①生徒の進路実現に向け、実態に即した適切な支援が行えたか。</p> <p>②多様な進路希望に対応した校内体制が構築できたか。</p> <p>②上級学校卒業後の社会接続まで見据える、長期的な視点を持った進路支援が行えたか。</p> |
| 4 | 地域等との協働      | <p>①インクルーシブ教育実践推進校としての本校の取組みを地域に情報発信するとともに、生徒の地域理解・研究と地域貢献を通じ、連携と協働を推進する。</p> <p>②地域防災の推進や情報交換等を通じて、近隣地域との連携を推進する。</p>        | <p>①Web ページやSNS による本校の教育活動や地域貢献の取組みの発信を強化するとともに、学校説明会等の充実により参加者を増加させ、入学志願者の増加につなげる。</p> <p>②紙上防災訓練（緊急時避難、DIG）、火災・地震想定避難訓練、帰宅困難生徒対応訓練（避難所開設訓練）を実施する際に、近隣地域との関りを深められるものにする。</p> | <p>①アンケート等で足柄高校を志望校とした理由を把握し、生徒や保護者の期待に応えた広報活動を実施する。志願者増のためのナーチャリングの有効性を検討する。</p> <p>①教職員と生徒が協力して学校説明会を実施する。</p> <p>②校内の防災関係のマニュアルを整備し、在校生対応のみならず、近隣地域と連携できるようなメニューを考えていく。</p>                             | <p>①Web ページやSNS の更新頻度が上がったか。</p> <p>①入学者選抜で志願者が増加したか。学校説明会等に参加した生徒が入学したか。</p> <p>①学校説明会の運営に参加した生徒が充実感を得られたか。</p> <p>②近隣地域との情報交換および連携を十分に取ることができたか。防災避難体制の整備を進められたか。</p>  |
| 5 | 学校管理<br>学校運営 | <p>①学校全体で教育環境に対する課題を共有し、校内施設と教育活動のバリアフリー化を進めるとともに、安心・安全な学校づくりを組織的・計画的に推進する。</p> <p>②不祥事防止に努め、実効性の高い組織的な取組みを行う。</p>            | <p>①生徒の生活環境を整え、安全でストレスの少ない学校生活を送れるよう、物品、施設面で配慮する。</p> <p>①校務のDX化による職場環境の整備を通じて教職員の働き方改革を行い、ゆとりをもって生徒に対応できる時間を確保する。</p> <p>②不祥事防止研修を継続的に実施し、全校体制での防止策強化に取り組む。</p>              | <p>①生徒からの要望を聞く体制を整え、学校生活を物品・施設面の管理・補充により支える体制を整える。</p> <p>①新たな学校・家庭間の連絡システムや採点システムの導入、業務アシスタントの一層の活用により、教職員が行う業務の整理と精選を進める。</p> <p>②毎月定期的に不祥事防止研修を開き、職員全体に注意喚起するとともに、個々に自己点検を行い、不祥事防止を自分事としてとらえる機会とする。</p> | <p>①事務室と連携を取り、生活用品の補充や補修を適切に行ったか。</p> <p>①企画会議、グループ・学年の会議等を通じて業務内容や業務遂行手順の見直しを行ったか。</p> <p>②場面に応じた注意点や改善点の共有など、組織的な不祥事防止を実践できたか。</p>                                     |